

お手入れ方法

- 付着した汚れは、柔らかい布で水拭きをした後、柔らかい乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。拭き取る際は、キズにつかないようご注意ください。ヘアラインの場合は、目に沿って拭くようにしてください。
- 汚れが目立つ際は、水で薄めた中性洗剤で拭き、十分に水拭きを行なってください。
- ゴミなどの付着物を放置すると錆発生の原因となりますので、定期的に水で洗い流す事をおすすめします。
- 海水などの塩分を含んだものが付着した際は、水で洗い流し、十分に拭き取ってください。



注意

- ステンレスは錆に強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありません。特に塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなります。ご了承ください。また、鉄粉など表面に付着したまま放置すると錆が発生しますので、必ず拭き取るようにしてください。
- 金属の切断面は安全に配慮し処理を施していますが、ケガをする場合がありますので素手で触れないようご注意ください。
- お手入れの際、研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面に傷をつける恐れがあるため使用しないでください。
- シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は塗装を剥がす恐れがあるため使用しないでください。
- 殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。

取付取扱説明書 A-14 インターホンカバー

この度は、当社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
未永くご愛用いただくために、この取付取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。
この取付取扱説明書は大切に保管してください。

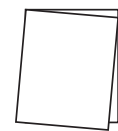
取扱上のご注意 ※必ずお守りください。

- 取付作業は、施工業者等のプロにお任せすることをお勧めします。
- この商品は無理な荷重・衝撃・落下により破損する可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 金属の切断面には充分ご注意ください。安全に配慮した処理を施しておりますが、ケガをする場合があります。取り付けをする際は保護用手袋を着用し、注意して作業を行なってください。
- 塗装部分の取り扱いにはご注意ください。塗装部分に関しては金属に焼付塗装を施しておりますので、摩擦や引っ掻き等により塗装部分が傷つくことがあります。環境条件によっては、塗装部分に変色・シミ・錆等が生じることがあります。
- 塩害環境に厳しい地域では錆びやすくなりますのでご注意ください。ステンレスは錆びに強い金属ですが、絶対に錆びない素材ではありませんので、取付環境には充分ご注意ください。
- 分解・改造・用途以外の使用は絶対にしないでください。ケガ・事故の原因となります。
- 商品に傷をつけないようご注意ください。お客様が施工中に破損された場合は、商品の取り替え等の措置は出来かねますので、ご了承ください。
- 木ネジ埋め込みのための穴が開けられる厚さの壁(25mm以上)、また開けた穴に接着剤を充填することができる壁に施工してください。
- 壁の素材がサイディングや石膏ボードなどの場合、強度が保てず落下する恐れがありますので設置しないでください。
- 取付面の凹凸が大きい場合は、平らに補正してください。凹凸が大きいと落下の原因となります。
- この商品は、壁面より手前に突き出ます。危険の無いよう取付環境には充分ご注意ください。※特に、お子様がぶつかる危険の無いよう、ご注意ください。
- 隙間に手や指を入れないよう、ご注意ください。
- 商品に寄り掛かったり、ぶら下がったり、過度の荷重をかけないでください。ケガ・事故の原因となります。
- 火気を近づけないでください。変色・塗装剥がれの原因となります。
- インターホン子機の取り外しやお手入れの際、取付方法の逆の手順で行なってください。
- 取付ベースの上下と裏表をご確認の上、ご使用ください。使用を誤った場合、インターホン子機とカバーの穴位置のズレが生じ、ご使用になれない場合があります。
- 壁面の素材が異なると、取付方法も変わります。状況に合わせてプラグや木ネジなどで補強を行なってください。
- 各部のネジのゆるみが無いか確認してください。
- 取付完了後、商品が確実に固定されていることをご確認ください。
- 商品を廃棄される場合はお住まいの地域の取り決めに基いた処理をお願いします。
- インターホンカバー以外の用途で使用しないでください。

施工される前に ※ご確認ください。

付 属 品

※不備がないかご確認ください。



取付取扱説明書
(1 枚)



木ネジ
(4 個)

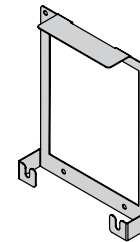


アンカープラグ
(4 個)

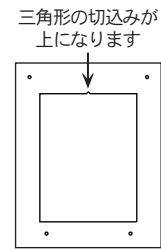


スペーサー
(2 個)

※インターホンカバーに付属



取付ベース
(1 台)



取付用紙
(1 枚)

準 備 す る も の

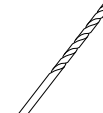
※壁面にあった種類のものをご準備ください。



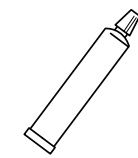
ペン



電動ドリル



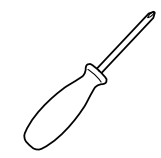
ドリル刃φ5



接着剤



スパナ 7mm



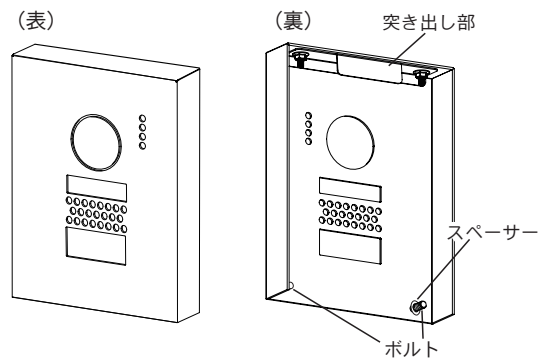
プラスドライバー

商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

＜日本製＞

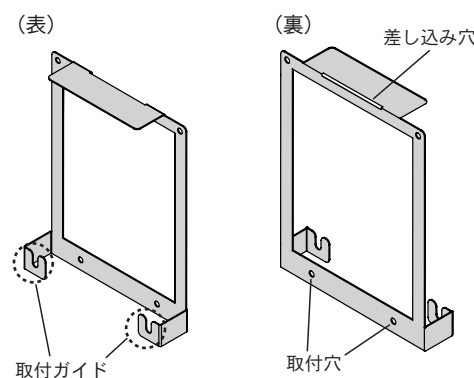
各部名称

インターホンカバー



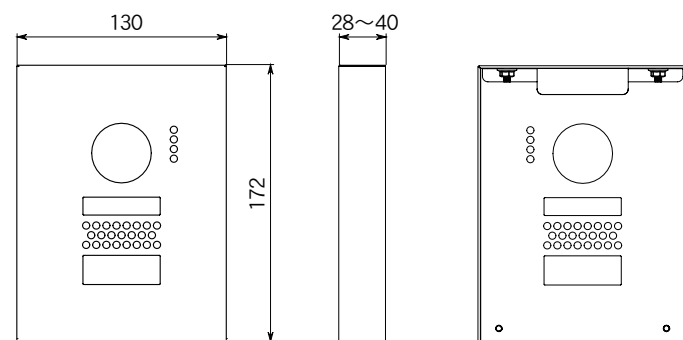
※インターホン子機の種類にあわせて厚みの異なるスペーサーを付属しております。

取付ベース

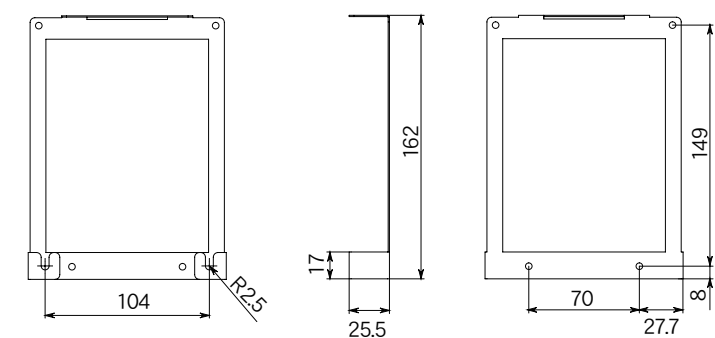


寸法図

インターホンカバー



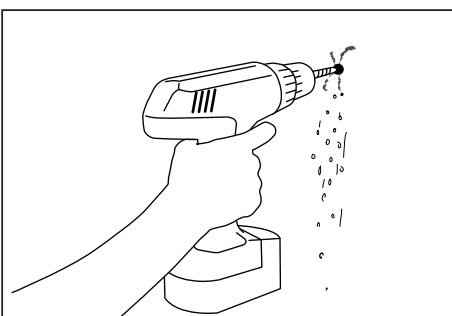
取付ベース



施工方法

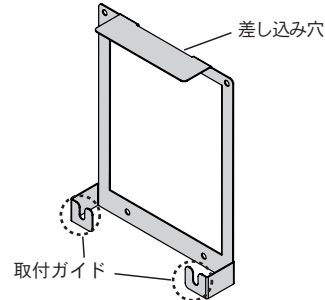
1 外さないでください。 インターホンカバー 取付ベース フランジナット スペーサー ボルト	お届け時、インターホンカバーと取付ベースは組み付けてあります。インターホンカバー裏面下部にあるボルトからフランジナットを緩め、上へスライドさせてインターホンカバーを外します。 ❗ 上部のフランジナットは取り外さないでください。 ❗ スペーサーはボルトから取り外さないでください。	2 取付用紙 上	インターホン子機に合わせて取付用紙を壁面にあてがい、4カ所の穴にペン等で印をつけます。 ❗ 取付用紙の開口部についている三角形の切込みが上にくるようにしてください。 ❗ 中心がずれないようご注意ください。
3 取付穴は壁面に対して垂直に開けてください。穴がゆがむと、本体が取り付けられない場合があります。	印をつけた位置にドリルで穴を開けます。(直径5mm、深さ25mm程度) ❗ 取付穴は壁面に対して垂直に開けてください。穴がゆがむと、本体が取り付けられない場合があります。	4 アンカープラグ	穴の中のゴミと削りカスを取り除いた後、開けた穴に接着剤を入れ、付属のアンカープラグを奥まで差し込みます。 ❗ 付属の木ネジ・アンカープラグが壁面の材質に合わない場合や特殊な取り付けをされる場合は、専門店で適切なものをお買い求めください。 ❗ 接着剤は別途ご購入ください。使用方法是、接着剤の説明書をよくお読みください。
5 木ネジ	取付ベースを壁面にあてがい、穴位置に合わせて壁面のアンカープラグにドライバーで木ネジをねじ込みます。	6 ① インターホンカバー上部にある突き出し部を取付ベースの差し込み穴に差し込みます。 ② インターホンカバー下部にあるボルトを取付ベースにはめ込みます。 ❗ この時、スペーサーはインターホンカバーと取付ベースの間に来ようにします。 ■側面図 インターホンカバー インターホン子機 取付ベース スペーサー 取付ベース ※取付ガイドに通す ボルト	① インターホンカバー上部にある突き出し部を取付ベースの差し込み穴に差し込みます。 ② インターホンカバー下部にあるボルトを取付ベースにはめ込みます。 ❗ この時、スペーサーはインターホンカバーと取付ベースの間に来ようにします。 ■側面図 インターホンカバー インターホン子機 取付ベース スペーサー 取付ベース ※取付ガイドに通す ボルト
7 しめこむ 取付ガイド 取付ベース	ボルトに手順①で取り外したフランジナットを手で締めたと、スパナ等で締め込みます。 ❗ 取付時のフランジナットの締めすぎにご注意ください。ボルトのねじれにより、本体が変形する場合がございます。		

取付上のご注意 ※必ずお守りください。



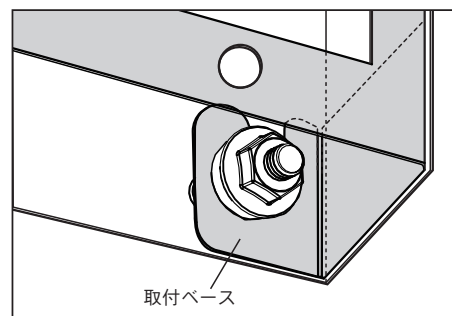
取付穴は壁面に対して垂直に開けてください。

穴がゆがむと、本体が取り付けられない場合があります。



取付ベースの組み付け方向にご注意ください。

差し込み穴がある方が上、取付ガイドがある方が下になります。



取付時のフランジナットの締めすぎにご注意ください。

ボルトのねじれにより、本体が変形する場合がございます。

アンカープラグの役割 (断面図)

- ① ドリルで開けた壁面の穴の中に接着剤を流し込みます。
- ② アンカープラグを中に入れます。(溢れ出た接着剤は拭き取ってください。)
- ③ 木ネジをねじ込むことでアンカープラグが開き壁から木ネジが抜けにくくなります。

